

台湾旅行感想レポート

長崎総合科学大学
総合情報学部総合情報学科
知能情報コース
柳瀬賢太郎

私は3月18日から同月21日にかけて台湾の台北市へ旅行に行った。その中で私が感じたこと、学んだことがたくさんある。

まず、私自身初の台湾ということで、その街並みに驚いた。車は右側通行、バス停は道路わきでなく、道の真ん中にあること。日本とは違う一面があった。道路を入っている車両は車はもちろんだが、原付がとても多く、朝の通勤時の原動機付自転車の多さ、特に交差点で信号待ちをしている原動機付自転車の様子は恐ろしさを感じるくらいでだった。交通の面から、電車においても日本と少し違うものがある。電車に乗るために切符を買うという行為は日本と同じなのだが、その切符がICチップだということに驚いた。改札に入るときはICチップをかざし、出るときは指定のところにICチップを入れるという形式で、それが日本と比べて少し近未来的なのかなと思った一面だった。

次に私が感じたことは、やはり、台湾と言えば「食」なんだなと改めて感じたことだ。以前から日本のテレビ番組や観光雑誌などで台湾が紹介されたりすると、台北市内の夜市が紹介されているのをよく見る。今回、私も台北市内にある3つの夜市の中の2つの夜市を訪れた。

一つ目は饒河街観光夜市だ。この夜市は一本の長い道に屋台が並んでいて、様々な種類の店があった。この夜市で私が食べて美味しいと感じたのは胡椒餅というものだ。名前からして餅ということなのでもちもちしているのかと思って食べてみると、そこにはジューシーな肉が入っていた。それにもちもちした食感もなく、言うなれば肉まんをカリカリに揚げたものというべきか。外はカリカリ、中はフワフワ。そういうものに感じた。その胡椒餅の他に私はその夜市で臭豆腐というものを食べてみた。名前の通りそれからは異様な匂いが漂っていた。私と一緒にいた仲間たちは一同に凄い顔をしながらそれを食べる私を見ていた。食べた感想としては意外に食べれたということだ。台湾の人々はこの臭豆腐をよく食べるという。日本でいう納豆にみたいなものなのかなと思った。

二つ目は士林観光夜市というところだ。台湾のガイドブックには台北市内では一番有名な夜市だと書かれていたのだが、やはり大きかった。そこは饒河街観光夜市とは違っていくつもの道に屋台がズラッと並んでいた。そこで食べたのは顔くらいの大きさがあるフライドチキンだ。屋台のフライドチキンというと、硬い肉のイメージが私の中にあったのだが、そのフライドチキンはとてもジューシーで美味しいと感じた。ただ、如何せんとても大きいフライドチキンだった故にその一枚でとても腹が膨れてしまって士林の夜市ではあまりほかの屋台の食べ物が食べれなかった。次行ったときはもっと食べれるように努めたいと思

う。

台湾3日目には台湾の超が付くほどの有名店「鼎泰豊（ディンタイフォン）」というところで小籠包を食べた。それはもう、とても美味しくて、文字通り本当に頬が落ちるのかと思うくらいだった。また台湾に行くときはここには絶対にもう一度行きたいと思った。

その後、私たちは九份という場所に行った。そこは台北市街からすこし離れた場所にあり、山奥の山壁に建つ街並みという感じなのだが、その街並みがとても幻想的できれいなのだ。当日は生憎の雨だったのだが、それも相まってさらに幻想的な雰囲気を醸し出していた。長く続く階段沿いに燈る提灯。狭い道の中、美味しそうに並ぶ飲食店やお土産屋。それら全て私にはとても不思議な世界に吸い込まれたと思ってしまうくらいだった。九份はお茶が有名らしく、多くの茶屋があった。私もその中の一つの店でお茶を頂いたのだが、とても美味しかったに尽きる味だった。お茶を淹れる際にも目の前で淹れてくれてたのだが、とても手間をかけていてしっかりとお茶の香りも味わいさせてもらった。その際の美味しいお茶の淹れ方や味わい方など、とてもいい勉強になったと思う。

最後に、今回の観光は主にツアーと使ったのだが、そのツアーで台北市内のいろんなところに行き、その中で私が特に注目した場所は故宮博物館だ。そこには中国の昔の書物や陶器などが展示されていた。正直、中国語で書かれていて何が描かれているのかはよく分からなかったのだが、元々博物館や美術館などに興味がある私にとってはとても興味深いもののように感じた。不思議な空間にいるようだった。

私がツアーの中で気に入ったものはマッサージだ。台湾の人々はよくマッサージをする。ガイドの人が言っていたので私たちも台湾のマッサージを受けてみた。受けてみたマッサージは合計で3種類。足つぼマッサージと全身マッサージ、美顔マッサージという種類だ。マッサージはとても気持ちよく、体も解れ、マッサージ終了時にはとてもすっきりした気持ちにもなった。

これらの他にも今回の台湾旅行では様々な発見や体験をさせてもらった。それらは数え切れず、言葉にできないような驚きなどの感情や様々な知識を得たように思える。今回の台湾旅行を通じてもっと私自身、世界に目を向け将来の糧にしなければいけないと思う。これからの未来は特に日本では今まで以上にグローバル化が進んでいくはずだ。そのためにまず台湾はもちろん、他の日本の近隣にある国も知っておきたいと思った。